

第33回中四国サミット 共同記者会見

日 時 令和6年10月15日（火）

16：30～16：45

場 所 JRホテルクレメント徳島
「クレメントホール西」

○司会（上田徳島県企画総務部長）

それでは、中四国サミットの記者会見を始めます。質問事項は、本日の会議の議題に関するものに限りさせていただきますので、よろしくお願いします。指名いたしますので、ご質問のある方は、挙手をしていただき、社名と氏名を申し出ていただくとともに、どちらの方に発言を求めるかお伝えいただいた上でご質問をお願いいたします。ご質問される方にマイクをお渡しいたしますので、マイクが届いてから質問をお願いいたします。

○後藤田徳島県知事

まず最初に、改めまして今日、第33回の中四国サミットを開催いたしまして、9県の中の6県の知事さんにご参加をいただき、また副知事さん、そして経済界からは、中経連の芦谷さん、そして四経連の長井さんにもお越しをいただきまして、11の議題につきまして、先ほど大変有意義な、活発なご意見をいただきまして、このアピール文を採択をさせていただくことができました。

これを改めて、地方創生をど真ん中に置く政府に対して、しっかりとアピールをしていきたいと、このように思っております。

そしてまた今日神山まるごと高専にも、湯崎知事、そして村岡知事にもお越しいただき、また両県の方から来ていただいている学生にも会っていただくなど、非常に我が県の現場にお越しをいただいたことに、感謝を申し上げたいと思います。そしてまた丸山知事におかれましては、もう26年前に、徳島市でお勤めになっておられたということで、その時の下宿先の方にもお越しいただき、また市長さんにもご面談いただいたということで、本当にありがとうございます。実は、福井県の杉本知事さん、また愛知県の大村知事さんも、徳島市にお勤めをいただいたということで、本当に我々、心強く思っております。

以上、ご報告をさせていただきたいと思います。

それではどうぞ、もしご質問あれば。

○NHK

NHKの柳本と申しますよろしくお願いします。後藤田知事にお聞きしたいんですけども、今回最初の方から、防災・減災の話は活発に意見が出されたんですけども、今回議長として、今回出たテーマ、防災・減災についての総括をお願いしたいんですけども。

○後藤田徳島県知事

はい。そうですね。防災・減災、そしてまたそのためのリダンダンシーの役割を持つインフラ、

こういう幅広いテーマで現場の最先端におられる知事さん、皆さんと議論させていただきました。

特に中四国が雨、豪雨で非常に災害が多かったという日本の歴史の中でも、また、だんだん気候変動に伴って、全国どこでも起こるような時代になっている。そしてまた我々としては、太平洋側の南海トラフ地震、津波。一方で日本海側も、また南海トラフ対応だとまた違った形の地震、津波が起こると。こういったところも併せ持って、今後、政府に対して、私どもの防災対策、そして減災対策、レジリエンスについて、特に国土強靱化の予算、そしてまた法律改正に伴う、さらなる充実をしっかりと主張していこうということ。

そして、災害が起こった後の避難所を含めたQoLに対して、例えば、TKBですね。トイレ、キッチンそしてベッド。こういったものの早期整備。また避難所の衛生管理、空調、そういったものについても、今現在ある緊防災のみならず、防衛装備品と同様に、防災装備品として国がしっかり責任を持って、調達し、各県に配慮し、そしていざというときにはそれを集積させると、こういった仕組みについてもしっかりと主張していこうと。

今の石破政権におきましても、防災省についても、大きなテーマとして、また政策として掲げておられ、そしてまた石破政権、鳥取県、我々中四国のご出身ということもあり、私どもの思いはしっかり伝えていきたいし、その理解度も高いと、そのように思っております。

○NHK

ありがとうございました。

○司会（上田徳島県企画総務部長）

他いかがでしょうか。

特段ご質問ないということでございますので、ここで記者会見を終了させていただければと思います。以上で中四国サミットに係る全日程を終了いたしました。ありがとうございました。

○後藤田徳島県知事

ありがとうございました。

（以上）